

2012年11月9日

**第50回 技能五輪全国大会 建築大工職種部門にて
銀賞・銅賞・敢闘賞を受賞！
住友林業ホームエンジニアリング(株)出場選手全員入賞**

10月26日（金）から29日（月）の4日間、長野県松本市・諏訪市で「第50回技能五輪全国大会」が開催されました。住友林業株式会社（社長：市川 晃 本社：東京都千代田区大手町）のグループ会社である住友林業ホームエンジニアリング株式会社（社長：山本 泰之 本社：東京都新宿区西新宿 住友林業(株)100%出資/以下 ホームエンジニアリング）から、5名の選手が出場し、建築大工職種部門で銀賞、銅賞、敢闘賞を含む全員が入賞しましたのでお知らせ致します。なお、全員入賞は今回で9度目となります。

《建築大工職部門》

銀賞	岡本 悠希(おかもと ゆうき)	(東海事業部 名古屋西センター)
銅賞	永岩 原野(ながいわ げんや)	(九州事業部 福岡センター)
	河野 啓介(こうの けいすけ)	(静岡事業部 静岡センター)
敢闘賞	酒井 駿一(さかい しゅんいち)	(上信越事業部 太田センター)
	栗山 卓也(くりやま たくや)	(北陸事業部 石川センター)

技能五輪全国大会は、青年技能者の技能レベルの日本一を競う技能競技大会であり、同時に、次代を担う青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若年者に優れた技能を身近にふれる機会を提供するなど、技能の重要性、必要性を広くアピールし、技能尊重の機運の醸成を図ることを目的として開催されています。今回の大会では、40職種約1000名の満23歳以下の技能者が都道府県を代表して出場し、その技能を競い合いました。建築大工職種においては、78名の選手が出場しました。

ホームエンジニアリングから出場した選手は、住友林業建築技術専門校（校長：鈴木誠司 千葉県四街道市/以下専門校）で大工としての必要な訓練を修了した技能職社員の中から選抜され、今回の大会に臨みました。専門校は、高品質の「住友林業の家」を施工する技能者養成を目的として1988年に開設した企業内訓練校です。「心・技・体 バランスのとれた技能者の養成」を訓練理念とし、1年間で建築技能者として必要な基礎知識と技能をバランスよく訓練し習得するカリキュラムを特長としています。当社独自の新技术による木造住宅だけでなく、日本の伝統的な木造軸組工法まで幅広く対応できる、次世代を担う技能者の養成に努めています。専門校の訓練課程修了後は、ホームエンジニアリングの社員大工として「住友林業の家」の建築施工に携わり、高い技術に基づく「住友林業の家」の構造躯体をつくり、安心・安全の家づくりを進めていきます。

なお、岡本社員は2013年7月にドイツ・ライプツィヒで開催される第42回技能五輪国際大会の出場が決まりました。「国際大会の日本代表選手の選考は、国際大会が開催される前の年に開催する技能五輪全国大会において行われ、大会開催年に22歳以下（一部の職種を除く）であることを満たす優勝者（成績優秀者）」という国際大会出場の出場要件によるものです。ホームエンジニアリング社員の国際大会での実績としては、1999年カナダ・モントリオール大会（第35回）で6位入賞、2007年に日本で開催された静岡大会（第39回）並びに2011年にイギリス・ロンドン大会（第41回）では銀賞を受賞しています。

以上

《お問い合わせ先》
住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室 飯塚・佐藤
TEL 03-3214-2270